

## 平成 29 年度事業報告書

デイサービスセンター彦岳の太陽

### 実施目標

1. サービスの質の評価、改善、向上
2. 利用者(通所)が快適に施設を利用できる環境を整備・維持
3. 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等他機関との情報共有、連携を密にし、地域のニーズに対応したサービスの提供
4. 地域との関わりの強化
5. 稼働率の向上

### 実施報告

1. サービスの質の評価、改善、向上
  - ・デイサービスでの朝礼、1日の振り返りの中で利用者様のケア内容について介助方法について等の検討を行ってきた。また月に1度デイ会議を行い、翌月の利用者の誕生日の確認や、レクリエーション内容、行事の計画等サービスの向上に努めてきた。
2. 利用者(通所)が快適に施設を利用できる環境を整備・維持
  - ・入浴介助後の浴室清掃と利用者送迎後デイホールとトイレの清掃は毎日、数ヶ月に1度は浴室の排水溝の清掃、レクリエーション用具の整理を行ってきた。またトイレ内にペーパータオルを配置せず、トイレに張り紙を行う事で排水の詰まりの予防を行なった。
3. 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等他機関との情報共有、連携を密にし、地域のニーズに対応したサービスの提供
  - ・地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のCM等との連携の中で総合事業卒業後の自費利用者の獲得を行ってきた。当初は自費利用である為、様々な面で負担を増やす部分もあったが、その後総合事業や通所介護での利用となっても継続して利用していただいている。
4. 地域との関わりの強化
  - ・地域と合同で行なう盆踊り、チャリティーショー、狩生地区演芸会へは例年同様に参加し、昨年度は狩生地区サロンへの参加、開設 10 周年の特別広報誌、理事長による記念講演を行なった。また中学生の職業体験や見学など、佐伯市内の小・中学校との交流も行なった。
5. 稼働率の向上
  - ・新規利用者様は昨年全体で18名あったが、施設入所等により利用回数の多い中重度者が減り、結果的に利用者減となってしまった。そんな中で、昨年度は介護度や保険内、自費に係わらず利用者増を行ってきた。そのことにより、自費のみで利用開始となった利用者が介護保険での利用となり利用回数が増加したり等、3月に入り徐々に結果となって現れるようになった。